

地域人材ネット

集落の再生と人口維持

高橋 寛治 (たかはし かんじ)

地域プランナー



○ 登録者情報

所在地

長野県飯田市

略歴

1944年、長野県飯田市生まれ。中央大学法学部卒。
飯田市役所へ入庁後、公民館主事、まちづくり推進室長、産業経済部長を経て平成16年3月退職。
同年10月より和歌山県高野町助役(副町長)。平成22年6月辞職。その間、埼玉大学非常勤講師(平成16年度から22年度まで)、
高野山大学客員教授(平成22年度より平成23年度)。
一方、民俗学を拓いた柳田国の研究を基礎に農山村の共同体再生に取り組んでいる。

著書・論文等

『市民自治のこれまで・これから』(公職研 共著)

○ 集落の再生と人口維持

取組の内容

飯田市の中心市街地の再生に対して、デベロッパーやゼネコンに頼ることなく、住民と市役所が一体となって小規模の再開発を連鎖させ地方都市の再生のモデル(飯田方式)の礎を組み立てました。特にその中心となったTMO「飯田まちづくりカンパニー」は市民の活動拠点の会社ともいえます。

また同時期に、都市と農村の交流で、お客様を受けること専門の「南信州観光公社」を法人化。第一回オーライ日本での内閣総理大臣賞の受賞に関わりました。

なお、高野町時代には町並みの景観整備や日本で最も早く集落支援の実現を図る内発的発展のモデルとしてのまちづくりを指導しました。

実績

- 1、地方都市における小規模再開発の連鎖システム(飯田市 再開発3地区)
- 2、農地の所有と利用の分離(飯田市 60ヘクタール)
- 3、都市と農村の交流における受け入れシステム(飯田市 中高校生=年間3万人)
- 4、独自性を持った景観整備(高野町)
- 5、過疎山村の再生(高野町他 支援員制度・農林業での再生・既存公共施設の再利用)

ひとことPR

都市でも農山村でも、地域の内発力を引き出しながら自治の力を引き出すことを基本と考えます。したがって教育活動やコミュニティーの再生を基本から学び実践したいと考えます。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1	地域経営改革	○	7	まちなか再生
2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
4	企業立地促進		10	環境保全
5	定住促進	○	11	その他
6	観光振興・交流			

連絡先

メールアドレス	kani4747[at]mark@gmail.com	その他	
---------	--	-----	--

※メールを送る際には[at]マークを[@]に変えてください。

戻る